



各 位

平成 20 年 10 月 30 日

会社名 FDK株式会社
 代表者名 代表取締役社長 杉本 俊春
 (コード番号 6955 東証第一部)
 問合せ先 執行役員財務経理部長 辻井 浩二
 TEL (03)3434-1271

平成 21 年 3 月期の業績予想の修正について

平成 20 年 4 月 25 日の決算発表時に公表した平成 21 年 3 月期の第 2 四半期連結累計期間および通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 第 2 四半期連結累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

①連結

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	一株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,500	400	△600	△700	△5 47
今回発表予想(B)	46,380	65	△632	△777	△6 07
増減額(B)-(A)	△4,120	△335	△32	△77	-
増減率	△8.2%	△83.8%	-	-	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 20 年 3 月期第2四半期)	58,637	1,077	△162	△392	△3 07

②単独

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	一株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,000	△550	△1,200	△1,180	△9 22
今回発表予想(B)	19,693	△255	△425	△423	△3 31
増減額(B)-(A)	△2,307	295	775	757	-
増減率	△10.5%	-	-	-	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 20 年 3 月期第2四半期)	29,454	295	△531	△658	△5 14

修正理由

第2四半期累計期間の連結業績につきましては、米国の金融危機に起因する経済環境の悪化により世界的に景気が減速に向かうなか、デジタル家電向け、なかでも液晶関連製品の売上が第2四半期後半以降、減少したことにより、売上高および損益とも前回発表予想から修正いたします。

第2四半期累計期間の単独業績につきましては、付加価値の高い製品へのシフトなどを行ないましたものの、連結と同様、売上高を減額修正いたします。

2. 通期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

①連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	112,800	2,800	750	300	2 35
今回発表予想(B)	86,500	100	△2,200	△950	△7 43
増減額(B)-(A)	△26,300	△2,700	△2,950	△1,250	-
増減率	△23.3%	△96.4%	-	-	-
(ご参考)前期実績 (平成 20 年 3 月期)	113,668	1,909	△2,340	△3,105	△24 28

②単独

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	51,500	200	△1,250	△1,300	△10 16
今回発表予想(B)	38,500	△600	△1,780	△300	△2 35
増減額(B)-(A)	△13,000	△800	△530	1,000	-
増減率	△25.2%	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (平成 20 年 3 月期)	57,124	14	△2,602	△2,894	△22 63

修正理由

通期の業績につきましては、第3四半期以降も世界的な金融不安による景気後退が進み、セットメーカーの大幅減産の影響による売上高の減少と、これまで進めてきた事業等の売却を勘案し、連結・単独ともに予想を上記記載の通り修正いたします。

(注意事項)

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因により、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。